

シンガポールで低燃費タイヤ用合成ゴム製造プラント起工式を開催

2011年9月2日

日本ゼオン株式会社（社長：古河 直純 東京都千代田区）は、シンガポールにおいて新たな溶液重合法スチレンブタジエンゴム（S-SBR）の製造プラントの起工式および祝賀セレモニーを2011年9月1日に開催いたしました。

起工式は現地時間11時30分、シンガポール経済開発庁（EDB）Liang Ting Weeディレクター、およびジュロン土地公社（JTC）Heah Soon Pohディレクターをはじめとした各方面からのご来賓にご出席をいただき、日本ゼオンからは社長古河直純以下10名が参加し、建設予定地であるジュロン島で挙行されました。

また、祝賀セレモニーは夕刻より、会場を市内のフォーシーズンズホテルに移し、Leo Yip EDB長官、鈴木庸一在シンガポール日本大使館特命全権大使のご出席をいただき、盛大に執り行われました。

当社のS-SBRの主力市場であるタイヤ市場は、世界的な環境問題から新車用タイヤ、リプレイス用タイヤ共に低燃費性能が重視され、その需要が大きく拡大しております。現在低燃費タイヤの主力補強材となっているシリカ配合に適したS-SBRは、国内外のタイヤメーカーからその性能に関して高いご評価を頂いております。


当社はこれまで自動車エンジンルームに使用されている特殊ゴム分野で世界的な地位を築いてまいりましたが、今回シンガポールで生産する特殊なバッチ重合によるS-SBRを他社製品とは差別化された特殊ゴムとして位置づけています。

また、ジュロン島バンヤン地区に建設するS-SBRプラントは単にS-SBR事業の展開のみならず、今後の当社グループ全体の海外事業展開において重要な一翼を担うものと位置づけています。

<建設計画>

- ・ 立地：シンガポール ジュロン島内 バンヤン地区

- 生産能力：第1期 2013年7月商業生産開始 生産能力 年産3～4万トン
第2期 2016年前半商業生産開始 生産能力 年産3～4万トン
- 生産品目：溶液重合法スチレンブタジエンゴム、ブタジエンゴム
- 製法：溶液重合法

 本件に関するお問い合わせ

日本ゼオン株式会社 **CSR**統括部門 広報室
Tel : 03-3216-2747

▶ お問い合わせフォーム